

人間力と瞑想

人間力という言葉がよく使われます。

私は先ず心身の健康をつくり、「今をいかに生きるか」という判断力と実行力だと考えています。

仕事という場面でいかに考え、どのように働くか。

会社の採用試験の面接官は、よい人を採用する専門家です。

どのようなことを基準に、判断するのでしょうか。

大体はコミュニケーション能力だと言いました。

会社に来ていただいて、どのような仕事をさせていただくにも、たとえ人とあまり話す必要がなさそうな仕事であっても、上司の話を聞き、仕事上の報告や質問をしてもらわなければならないのでコミュニケーション能力が必要です。と言われました。

さらに欲しいのは「相手の立場を考えられる謙虚さです」とも言われました。会社というところはお金をくれるところですが、条件として、謙虚に、皆と仲良く働いてくれる人が欲しいのです。

またある人は「実際の体験、どんな小さな体験でもよいから」そのような話が聞きたい。とも言われました。人間性の伝わる話が聞きたいのです。

今の学生さんは市民のNPO活動や地域のボランティア活動に参加して社会人や定年退職した人たちと触れ合うこともできます。

そして実社会へ出た時の準備になります。

親と話しするのが苦手でも、他の大人たちには遠慮しながら話すでしょうし、大人たちも手加減します、人生の先輩としての意見が聞けたりします。

「1、2、3」の効果は人間力向上

「1、2、3」の雑念消去法や瞑想を実修すれば、自分の感情をコントロールできるようになり、辛抱して人の話を聞けるようになります。

そのようにすれば話をよく理解できます。聞き上手になります。

世の中の多くの人は話を聞きながら、「参考になる話かどうか」「自分にとって得になる話かどうか」「そんな事したら何の得にもならんやろ」など即座に判断されるようです。得になりそうもないと判断されると耳をふさがれます。そのような「聞きべた」な人が多いです。成長が期待できません。

会社や社会は成長を期待できる人を求めています。